



鵜住居地区

発行:平成30年11月
発行元:釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	平成30年10月27日(土)
時間	13:30 ~ 15:46
場所	鵜住居地区生活応援センター
参加人数	48人

<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本日の趣旨 2. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて 3. 住宅再建に係る補助制度について 4. 片岸8号線及び(仮称)恋の峠公園線の道路改良事業について 5. 鵜住居地区消防屯所建設事業について 6. 市有地活用事業選定事業者の辞退について 7. 鵜住居地区商業施設の整備について 	<ol style="list-style-type: none"> 8. 鵜住居駅前地区公共施設(うのすまい・トモス)の進捗状況について 9. 釜石鵜住居復興スタジアム整備とオープニングイベント開催結果について 10. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について 11. 意見交換
--	---

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて、また住宅再建に係る補助制度について等々のご意見、ご質問をいただきました。

議題の概要

最新の土地利用計画について

鵜住居地区 まちづくり計画

【進捗状況 未書・整備中】

◆安全・安心の確保

- ①市街地は平均1.7m程度高上げ
- ②国道45号を円滑な線形に整備
- ③水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
- ④公園は、地域の祭り利用等を想定し配置
- ⑤道路整備に併せて、上下水道施設を整備
- ⑥宅地が区画道路に接続するように配置
- ⑦道路・街区計画に合わせた水路整備

◆公共施設の整備

- ①安全な高台に整備する小中学校・幼稚園、防災まちづくりの拠点整備
- ②復興公営住宅は10ヶ所に配置120戸(集合75戸、戸建45戸)
- ③被災した市内スポーツ施設(体育館)の建設やラグビーワールドカップ開催に向けたスポーツ拠点施設の整備
- ④生活応援センター、集会施設、消防屯所の整備
- ⑤交流拠点施設などの駅前エリアの整備

◆産業の再生、震災メモリアル継承

- ①震災メモリアル施設の整備
- ②鵜住居駅周辺を中心とした商業集積、栗橋から箱崎半島全体のにぎわい交流拠点の整備

※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。

町界町名変更案の決定について

■平成30年1月に開催した住民説明会でご了解いただいた町界町名の変更案が平成30年6月の市議会でご決まりました。

■町界町名地番(住所)の変更は「換地処分公告の日」に実施されます。

町界町名変更案

- 町の区域は5つの町に分割する。
- 「鵜住居町」と「丁目」で表記する。
 - ・鵜住居町1丁目～5丁目
 - ※登記簿上の丁目の数字は漢数字になります。
- 地番は、従来の町名の地番と重複しないよう街区ごとに100番単位で設定する。
 - ・地番の例
 - 101番、102番…201番、202番、1001番…1102番…2202番…

表示の例

鵜住居町1丁目 801番地
鵜住居町1丁目 1001番地

鵜住居地区商業施設の整備について

1. 商業施設の概要

鵜住居地域の市民生活を支える商業機能の回復を図るため、津波・原子力災害被災地域雇用創出補助金(商業施設復興整備補助金)を活用し、鵜住居地区に商業施設を整備するもの。

(1) 施設名称 鵜住居地区商業施設
(2) 建物構造 鉄骨造平屋建
(3) 建築面積 1506.72㎡
(4) 事業主体 釜石まちづくり株式会社

2. これまでの経緯、今後の予定

平成30年6月	鵜住居地区まちなか再生計画認定
7月	津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金申請
9月	同補助金採択
10月	鵜住居地区商業施設実施設計開始
平成31年1月	鵜住居地区商業施設着工予定
夏頃	オープン予定

鵜住居駅前地区公共施設(うのすまい・トモス)の進捗状況について

このようなご意見・ご質問をいただきました



生活再建支援金の加算支援金申請が期限内に間に合わない場合、加算金及び補助金全てが支給対象にならないのか。救済措置はないのか。

県に対して、市から申請期限の延長要望を出しております。今後ともさらなる延長を継続して要望したいと思います。

住宅再建後、正式な住所が決定するまでの期間は、どのような住所表記になるのか。

土地区画整理区域内にお引っ越しをされた場合であれば、換地処分の完了がなされるまでの間は、仮の住所を表示することとなります。

住宅を再建した場合、市の住宅再建補助金は当初100万円だったが、後に加算された30万円も上乘せされるということをご皆さんに周知されているのか。

平成30年1月1日号と8月15日号の広報で、補助金の加算について周知しております。また、補助の対象となる方に個別に電話等で呼びかけもさせていただいております。

防犯灯の設置に関する補助金は将来的にも続けていただけるのか。

当面は平成32年度まで助成を実施いたします。

市道箱崎半島線の凍結対策はどのように考えているのか。

気象状況に合わせてパトロールを実施するほか、峠の前後の歩道に重点的に凍結防止剤を置き、市と除雪作業の委託業者とで、散布の対応も重点的に実施したいと考えております。

鵜住居地区の国道45号から電柱がなくなるのはいつごろなのか。

およそ1年もしくは2年以内には、電線等が地中に收容されて電柱も撤去されるのではないかと考えております。ただし、寺前交差点と釜石北インター付近に関しては来年のワールドカップ前までの終了を目標に進めております。

町内のごみ置き場はどこに配置するのか。そういった整備は進んでいるのか。

新田、神ノ沢地区に4台のうち3台、新川原地区が7台のうち6台設置しており、11月中にはもう1台ずつを設置する予定で進めております。鵜住居町内会地区につきましても、8台を設置する予定で、そのうち4台設置済み、残り4台は設置場所が決まり次第速やかに進めていこうと考えております。

ごみ箱は、最初は住宅のあるところに置いてもらい、徐々に動かすなど現場を見て対応してほしい。

町内会の役員会で設置場所についてご協議いただくということで、それが決まり次第、現場を確認させていただきながら設置に向けて進めてまいりたいと考えております。

釜石鵜住居復興スタジアム(以下、「スタジアム」と言う。)付近の避難の想定はどうなっているのか。

普段の避難路は釜坂橋を渡って学校方面、もう一方は恋の峠方面の2方面での避難を想定しております。更に、非常の際はスタジアム裏の森林作業道を避難路として活用できるよう検討しております。

どこからどこまでが避難路としてあてにしているのかをはっきり表示しておいたほうが皆さん情報を得やすいのではないかと。

スタジアムの仮設席の整備等とあわせて、避難の方法や避難路についても分かりやすく周知してまいりたいと思います。

原子力廃棄物に関する説明会が釜石を含め全国7ヶ所で行われているということについて市長の気持ちをお聞きしたい。

釜石市としては原子力発電、あるいは放射能に関する全てのものについて受け入れもしないし、そういった賛成もしないということを再三申し上げております。

今後もそういった話があっても受付もしませんし、そういう話の場にも出席する気持ちも全くございません。

長内川で、今までの大水により土砂が堆積した箇所が随分見られるので、そこをぜひ除去してもらいたい。

河川管理者(県)が状況を見ながら、鵜住居川も含めて定期的に河道掘削を実施する予定となっております。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せてご覧ください
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部 TEL:0193-27-8479
FAX:0193-22-2686